

愛知県碧南市

高い鑄造技術力を活かした自社開発商品「おもいのフライパン」が大ヒット

80年にわたり培った鑄造技術で、水道管部品、重機・ロボット等の産業機械部品を鑄造により製造する。自動車部品等製造業向けのアルミ熔解用鑄鉄ルツボ・ラドル等の資材の自社開発・販売にも取り組む。今後の事業環境の変化を見通して、下請脱却を目指して初めて一般消費者向けに自社開発した「おもいのフライパン」が大ヒット。ルツボ・ラドル等を含めた自社開発製品を主力とする企業への転換を目指す。

●所在地 愛知県碧南市中松町1丁目12番地

●設立 1938年

●電話/FAX 0566-41-0661/0566-41-2580

●資本金 2,400万円

●URL <http://ishikawa-chuzo.co.jp/>

●従業員数 41人

●代表者 代表取締役社長 石川 鋼逸



世界中にある「肉をおいしく食べたい」というニーズに対応

お肉を好きな人をターゲットにアメリカ、ヨーロッパ、アジアなどへの展開を模索している。2019年3月には、台湾での商談会に出向き、現地ならではの料理・調理器具のニーズを調査。また、アメリカのレストランオーナー等を通じた特注品の商談もある。通関の問題もあり国内同様の自社サイトでの販売はできないが、今後も現地を訪問し、信頼できる企業とのコラボレーションや代理店・パートナーを通じて、「おもいのフライパン」でおいしい肉料理を世界中に届けることを目指している。



海外での商談風景

下請から付加価値の高い自社開発製品を主力とする企業への転換

自動車産業が変革期を迎えるなか、CASEとりわけ電動化が進むことで、エンジンに多く使われるアルミ部品、ひいては同社が扱うアルミ熔解用鑄鉄ルツボ・ラドル市場も縮小が予想される。付加価値の高い新事業の柱を模索するなかで、熟知する鑄物の特性や技術、品質等を見つめ直し、一般消費者向け商品の自社開発に挑戦。前代未聞の重いフライパンは、重量が「おもい」、職人の「おもい」、お客様の「おもい」にかけて「おもいのフライパン」と命名。下請企業の一般消費者向け自社ブランド開発の先進事例となっている。



おもいのフライパン

鑄物本来の魅力を引き出す技術力で、食の安全安心を提供

世の中の鑄物製品はほとんど塗装やコーティングがなされ、鑄物の利点である熱伝導率をさげてしまっていることに着目し、自社の強みである鑄肌を美しく仕上げる技術力で、無塗装の最終製品を実現。塗装やコーティングが剥がれる心配のない調理器具として、食の安全安心をも提供。また、取っ手の長さ・太さ・取付け角度のバランスも追求することで、鑄物の蓄熱性を引出すためにギリギリまで厚くしながらも、握力の弱い女性でも苦にならずに扱える商品となっている。



安全安心